事業戦略

機能繊維・商事事業

清水 栄一
常務執行役員 機能繊維・商事本部長

繊維技術で暮らしにちょっとした快適な変化をつくりだします

事業概要と市場環境

機能繊維・商事事業は、エアバッグ、機能繊維、衣料用繊維、商社機能（東洋紡STC（株））で構成されており、エアバッグはタイ・中国・米国で約500人強、繊維は、東南アジア、中米に約3,000人強の人員を配置し、商社機能は、タイ、中国、インドに拠点を置くなど、グローバルに事業を展開しています。

2023年度、繊維事業（東洋紡せんい（株））は、コロナ明けで市場が活性化した好影響を受け、国内外市場とも販売が堅調に推移し増収増益となりました。不採算事業からの撤退や国内工場の合理化により4年ぶりの黒字化を達成しました。

エアバッグ事業は、自動車生産台数の回復により、エアバッグ基布の販売量が増加した一方、原糸工場の火災で悪化した収益構造の改善遅れにより赤字脱却に至っておらず、また急激な需要の回復による生産現場でのコストが発生したため、非常に厳しい業績となりました。

事業の特徴や強み

繊維事業は 人と地球に優しい商品ラインアップや化合繊メーカーとして培った重合・変性技術を有しており、昨今の環境素材ニーズは販売機会拡大のチャンスと捉えています。

他方、諸原燃料価格高騰によるコストアップ、国内縫製協力工場の廃業加速や工場での労働力不足が大きな懸念材料でもあります。

エアバッグ事業において、長年培ったナイロン長繊維技術は、2022年10月に商業生産を開始したIndorama Polyester Industries PCLとのエアバッグ原糸製造合弁会社Toyobo Indorama Advanced Fibers Co., Ltd.（以下、TIAF）に引き継がれています。

2025中計における事業戦略と取り組み

「繊維技術で暮らしにちょっとした快適な変化をつくる」を当事業のビジョンとして、生活で生かせる特性技術を開発・製品化しています。また、「事業ポートフォリオのあるべき姿」に向けて各事業分野の適正利潤を得るため、「不採算事業・商材からの撤退」「生産規模と人員の適正化」「コストアップに対する価格転嫁」などに優先して取り組んでいます。

各事業の取り組みは以下のとおりです。

エアバッグ	● 環境保護に貢献するノンコート基布での高いシェアを維持 ● バイオベースのポリエステル基布も開発しGHG削減に貢献 ● 需要増に備えベース価格改定による収益性の改善と品番統合などによる製造コストの削減の取り組みにより早期黒字化 ● タイの新原糸工場（TIAF）稼働率の早期向上 TIAF工場
機能繊維	● 2024年4月より国内工場を庄川工場へ集約 ● Toyobo Textile（Malaysia）SDN.BHD.（略：TTM）での生産拡大実施
衣料用繊維	● 東洋紡せんい（株）は、2023年度に国内工場の集約と海外拠点と一体となった事業運営により収益回復、黒字化を達成 ● 繊維事業での安定経営を目指して技術力を高めるとともに、事業分野の選択と集中を実施
アクリル繊維	● 日本エクスラン工業（株）は、機能材を中心とした高付加価値商品を独自技術で差別化 ● アクリル原綿のOEM化で生産工程の効率化 ● 社外との連携を含む営業戦略と拡販強化策を実行し黒字化を目指す
商事	東洋紡STC（株）は、東洋紡グループ会社との新たな商流の拡大、独自技術商品の拡大などに注力

ゆたかさの実現に向けた取り組み

People	従業員のウェルビーイング、外国人技能実習生の良好な待遇など
Planet	健康被害防止と環境負荷低減に貢献する接着剤を使わない防水用シートの開発
Prosperity	東洋紡せんい（株）では、衣料品のアップサイクルに取り組み、国内で高品質かつ魅力的なリサイクル製品を提供する市場の創造を目指す 衣料品のアップサイクル製品